

**「会社規模」の視点**  
 (栗原) 藤岡さんは、「中小企業」と言っても、その規模によって経営課題や特性が異なります。同友会を例に挙げますと、現在のおよそ2300社の会員企業が、従業員数が5名以下の企業が46%、6名から20名が34%、21名から50名が16%、51名から100名が4%、101名以上が2%の構成です。従業員数が20名以下の企業が8割です。

日本にある全企業数の約99.7%が中小企業で、働いている人の約70%が中小企業で働いている。また、新卒として日本で就職した留学生のうち、約70%が中小企業に就職している。一方で、就職支援の現場で耳にする情報は、大手企業や中堅企業への就職を前提としたものが多く、今回は、「中小企業のマッチング」に焦点を当て、兵庫県中小企業家同友会代表理事の藤岡氏にお話を伺った。(以下、敬称略)



**栗原由加 氏**  
 神戸学院大学 グローバル・コミュニケーション学部 教授  
 キャリア教育センター副所長

# 留学生の就職支援



**藤岡義己 氏**  
 兵庫県中小企業家同友会 代表理事  
 株式会社イーエスプランニング 代表取締役

## 第10回 対談⑨ 「中小企業のマッチング」

栗原: 藤岡さん、中小企業の規模について、どのようになっていますか?  
 藤岡: 先ほど申し上げた通り、現在のおよそ2300社の会員企業が、従業員数が5名以下の企業が46%、6名から20名が34%、21名から50名が16%、51名から100名が4%、101名以上が2%の構成です。従業員数が20名以下の企業が8割です。

# 会社規模、4つの類型 マッチする企業の探し方

栗原: 藤岡さん、中小企業の規模について、どのようになっていますか?  
 藤岡: 先ほど申し上げた通り、現在のおよそ2300社の会員企業が、従業員数が5名以下の企業が46%、6名から20名が34%、21名から50名が16%、51名から100名が4%、101名以上が2%の構成です。従業員数が20名以下の企業が8割です。

類型	グローバル型	サプライチェーン型	地域資源型	生活インフラ関連型
期待される役割	海外需要の獲得	サプライチェーンの維持・強化	地域資源の活用・雇用の下支え	生活基盤の維持
目標例	輸出額 利益率 等	売上額 取引先数 等	観光客向け売上額 雇用者数 等	サービス向上 財務強化 等
支援例	・設備投資 ・新技術・商品開発 ・海外展開	・設備投資 ・共同研究・開発	・販路開拓 ・新商品開発 ・ブランディング	・経営基盤の強化 ・IT導入 ・新サービス開発

資金繰り、人材確保・育成、事業継承の円滑化 等

栗原: 藤岡さん、中小企業の規模について、どのようになっていますか?  
 藤岡: 先ほど申し上げた通り、現在のおよそ2300社の会員企業が、従業員数が5名以下の企業が46%、6名から20名が34%、21名から50名が16%、51名から100名が4%、101名以上が2%の構成です。従業員数が20名以下の企業が8割です。

**京都でIT、デザイン、自動車を学ぼう!**  
**日本最初のコンピュータ教育機関**  
**京都コンピュータ学院**

**留学生のためのコース**  
 ◆母国や日本での就職を目指す!  
 国際ビジネス ITコース ~情報処理科 全日制2年  
 国際自動車制御コース ~応用情報学科 全日制3年  
 ◆京都情報大学院大学(修士課程)への進学を目指す!(編入可)  
 国際情報コース 国際アート・デザインコース 国際観光情報コース  
 ~いずれもコンピュータ工学科 全日制3年  
 ◆通信制を設置!いつでも、どこからでも日本の最新ITを学ぶ  
 国際応用情報学科(4年課程) ※学位プログラムの取得はできません

**経営とITを学び情報技術修士を取得! kecg.edu**  
 入学定員を700名に増員しました  
**京都情報大学院大学**

令和5年度 東京都 外国人材受入総合サポート事業  
**外国人留学生就職支援セミナー**  
 2024年 **1月17日(水)**  
 13:30~16:00  
 13:30 「留学生の就職市場と効果的な支援方法」  
 14:10 「大学事例紹介:帝京大学」  
 14:20 「専門学校事例紹介:専門学校東京スクール・オブ・ビジネス」  
 14:30 「日本語学校事例紹介:FPT日本語学校」  
 14:50 「留学生就職支援の課題と効果的な解決のための方策」

**関西大学留学生別科**  
 日本語・日本文化教育プログラム進学コース  
 2024年9月入学/出願期間:2024年4月1日(月)~4月22日(月)  
 2025年4月入学/出願期間:2024年7月頃webサイトに掲出予定

令和5年はコロナ禍の規制から一転して、対面やマスクなしの生活に戻りました。  
**東京電機大学**  
 9月の学外研修で訪れた山梨県立リニア見学センターにて